



VOL. 131

平成25年9月10日発行

宮城県大崎農業改良普及センター

〒989-6117 大崎市古川旭四丁目1番地1号

TEL (0229) 91-0727 (地域農業班)

(0229) 91-0726 (先進技術班)

FAX (0229) 23-0910

HP <http://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

E-mail osnokai@pref.miyagi.jp

ホームページアドレスが変わりました

おおさき

～大きい輪、和、話～

Osaki



ナス天敵現地検討会



直売所野菜講習会

「農業にもっと女性の力を！」

平成二十四年度農業白書の中に、目を引く一つの記述がありました。「女性農業者がいる経営、あるいは女性役員・管理職がいる経営は、いない経営と比べて、売上げや収益力が向上する傾向にある」という調査の内容です。詳細は割愛しますが、「女性ならではの細やかな気配り、対応、アイデアが経営面の強みになっている」と解説がありました。

今や女性農業者は担い手全体の約四割を占め、その果たす役割の重要性については従来から多くの調査・報告がありますが、今回もそれを改めて裏付けるものでした。

農業を取り巻く情勢は、相変わらず厳しい状況が続いています。このような中であって女性が持つエネルギーは、閉塞感を打開する大きな力です。女性農業者の皆さん、もっともって経営に関わっていきましょう。そして行動に移しましょう。普及センターではいろいろな側面から皆さんの取り組みや、夢の実現に向けての活動を支援して参ります。何かご相談等がございましたら、お気軽にご連絡下さい。

農業普及指導専門監 阿部 総明

プロジェクト課題活動の紹介

集落営農組織の経営力強化

下高城集落営農組合（色麻町）は、経営所得安定対策や将来の担い手不足、労働力の高齢化に対応するため平成18年に設立されました。高城地区経営体育成基盤整備事業が進行中であり、組合では各種支援事業を活用しながら法人化を目指しています。

普及センターでは、法人化に向けた勉強会を開催し、組織力向上として将来集落の農業の進むべき姿を具体化するものとして集落ビジョン作成を進め、集落のまとめ役であるリーダーの資質向上を支援しています。法人化後、更に経営を発展させていくための「攻め」の経営戦略として、中長期的な経営計画（品目・労働力・機械施設・資金繰り・マーケティング等）の策定を支援します。また、多様な担い手育成として、復活した「高城ごぼう」等を素材に、女性農業者を対象に加工品の試作等、6次産業化への取り組みを支援します。特に、経営の柱の一つとして拡大が期待される「高城ごぼう」による地元農業高校生と組合の交流の場を設定し、地域に根差した食材をPRします。組合で



法人化勉強会

は転作部門を強化するため、これまで「ごぼう」「たまねぎ」「ながいも」「だいこん」等園芸品目の導入を行ってきており、高齢者の働き方について軽労化を図り、法人化後も集落の貴重な労働力として参加を促し、集落全体で農地を守っていく意向です。法人化は経営発展の過程ですが、今後も集落での十分な話し合いを通じて、集落の発展を支援していきます。

未来の地域農業を担う多様な後継者の育成

当普及センター管内では、毎年数名～十数名が新たに就農しており、就農や給付金等に関する相談も多く寄せられています。新規就農者や就農して間もない若手農業者は、栽培技術や農業経営に対する知識・経験が不足しがちで、安定した経営ができるようになるまで、多くの支援が必要になります。若手農業者を訪問すると、栽培技術に関する質問や将来の経営に対する不安を抱えていることが分かります。

そこで、そのような若手農業者に対し、栽培技術の習得と経営を安定・拡大させるためのビジョン形成及び目標の達成に向けて、様々な支援を行っています。特に、就農計画や家族経営協定、経営改善計画など、安定した経営が出来るような計画の作成・改善を中心に行っていきます。今年度は、若手農業者を定期的に訪問し、栽培状況や経営内容等を聞き取りにより把握しています。今後は、若手農業者と相談しながら、自らの経営を振り返り、経営改善のための計画作成を支援していきたいと思います。

これからの地域の担い手となる若手農業者が、経営を発展させ安心して農業に取り組めるよう、将来のビジョン形成をサポートしていきます。



若手農業者のハウスを巡回し、栽培状況などを確認